

2016. 3. 23

～海外安全情報（広域情報）～

ブリュッセルにおけるテロ事件の発生に伴う注意喚起

～テロ・爆発が発生した際の留意事項，在留届・「たびレジ」登録のお願い～

1 3月22日朝（現地時間），ベルギーの首都ブリュッセル近郊のザベンテム（Zaventem）国際空港の出発ターミナル付近で2回の爆発が発生しました。また，ブリュッセル中心部の地下鉄のマルベーク駅（Maelbeek/Maalbeek Station）においても爆発が発生しました。報道によれば，合わせて少なくとも34人が死亡，198人が負傷しました。

2 ベルギー検察庁は，空港での2回の爆発のうち1つは自爆テロであったと断定し，実行犯3人のうち2人が死亡したものの，残りの1人について現在も逃亡中であると発表しました。なお，ベルギー政府は，本事案の発生を受けて，ベルギー全土のテロの脅威度を最高レベルの4（非常に高い。非常に危険な状態であり，事態は切迫している）に引き上げました。

3 本事件については，「I S I Lベルギー」と称する組織名で犯行声明が発出されました。同声明では，ベルギーが反I S I L連合に参加していることを攻撃の理由として挙げ，同連合への参加国に対する更なる攻撃を示唆しています。

4 ベルギーでの渡航・滞在については，これまでも安全について注意喚起をしてきていますが，更に警戒が必要な状況です。つきましては，同国においては，以上の状況を考慮し，不測の事態に巻き込まれないよう最新の関連情報の入手に努め，当面の間，不要な外出は避け，特に空港周辺，地下鉄の駅には近づかないようにしてください。また，やむを得ず，政府施設，公共交通機関，観光施設，デパートや市場など不特定多数が集まる場所等テロの標的となりやすい場所を訪れる際には周囲の状況に注意を払い，不審な状況を察知したら，速やかにその場を離れるなど安全確保に十分注意してください。

5 また，ベルギー以外の国に渡航・滞在される方についても，テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう，外務省が発出する海外安全情報及び報道等により，最新の治安情勢等，渡航・滞在先についての関連情報の入手に努めるとともに，日頃から危機管理意識を持つよう努めてください。

6 さらに、テロ・爆発事件に遭遇した場合に被害を最小限に抑えるため、例えば次の諸点を心がけられることをお勧めします。

(1) 予防措置

ア 退避ルートを確認する。

イ 隠れられる場所を確認する。

ウ 常に周囲の状況に注意を払い、不審者や不審物を見かけたら速やかにその場を離れる。

(2) 対処法

ア その場に伏せるなど直ちに低い姿勢をとる。

イ 頑丈なものの陰に隠れる。

ウ 周囲を確認し、可能であれば、銃撃音等から離れるよう、速やかに、低い姿勢を保ちつつ安全なところに退避する。

(海外旅行のテロ・誘拐対策パンフレット (<http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pamph.html>) も併せて参照ください。)

7 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

海外渡航や在留の際に、緊急事態が発生した場合、外務省からは随時情報を提供いたします。上記のブリュッセルにおけるテロ事件のほか、昨年11月のパリにおける連続テロ事件等、緊急事態の発生に際しては、あらかじめメールアドレスを登録いただいた方には、一斉メールにより、情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、緊急事態に備え必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>)

また、3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう、「たびレジ」に登録してください。

(詳細は <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照)

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室(テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3047

○外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く）

電話：（代表）03-3580-3311（内線）5140

○外務省 海外安全ホームページ：

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）

（了）